

扁平足の 形態的特徴と環境的因子

～扁平足の新しい指標～



北海道メディカルスポーツ専門学校柔道整復師学科 3 年
メンバー 小田俊介、桑原啓太、堂本蓮、山田晃弘

はじめに

- 近年、扁平足を主訴に接骨院へ来院する患者様は増加傾向にある
- 扁平足とは足の「土踏まず」がない状態
- 扁平足はシンスプリント、外反母趾、足底筋膜炎など様々な障害との関連性が高い



目的

- 扁平足の形態的特徴と背景因子を知る
- 問診する時の新しい指標を見つける



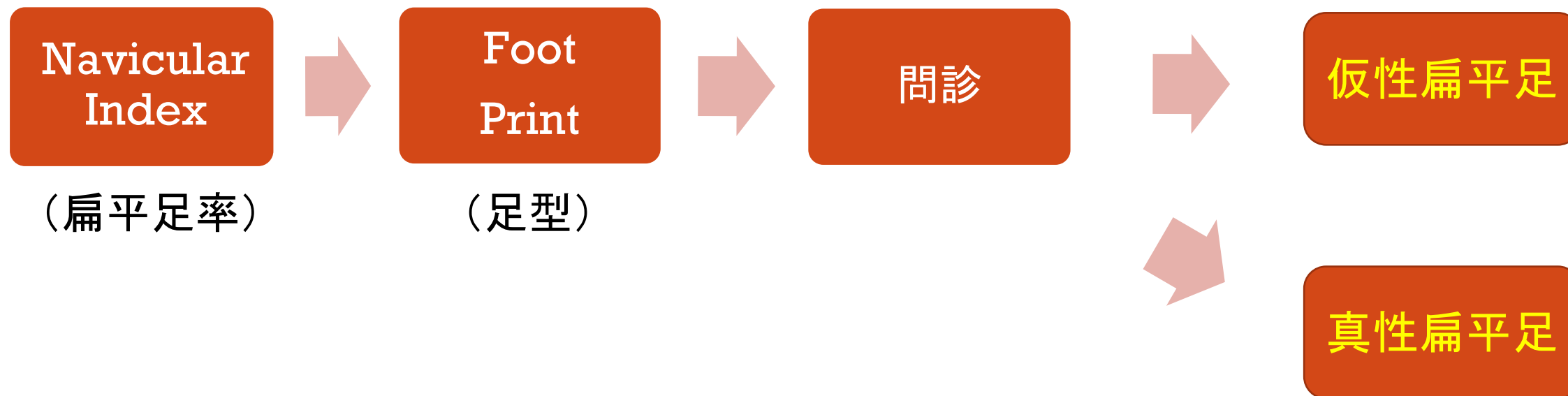
仮説

- 体重が**重い**ほどアーチに常に負荷が加わる為、**扁平足になる**のではないかと
- 競技年数が**長い**ほど足底に加わる刺激が多く**アーチの形成率が高い**と想定する
- 睡眠時間が**短い**ほど活動量が多い為**アーチ形成率が高い**のではないかと



方法

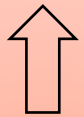
本校の男子学生 38 名（19～27）歳を研究対象



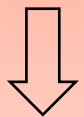
Navicular Index

足長 ÷ 舟状骨結節の高さ = 扁平足率 (6.7407)

扁平足



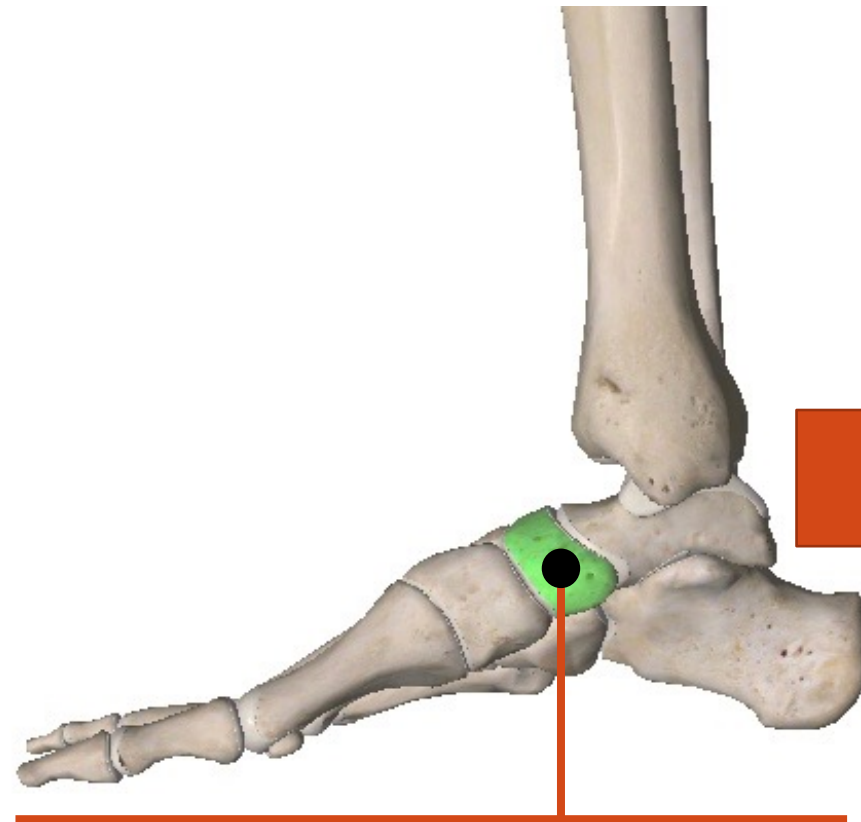
6.7407



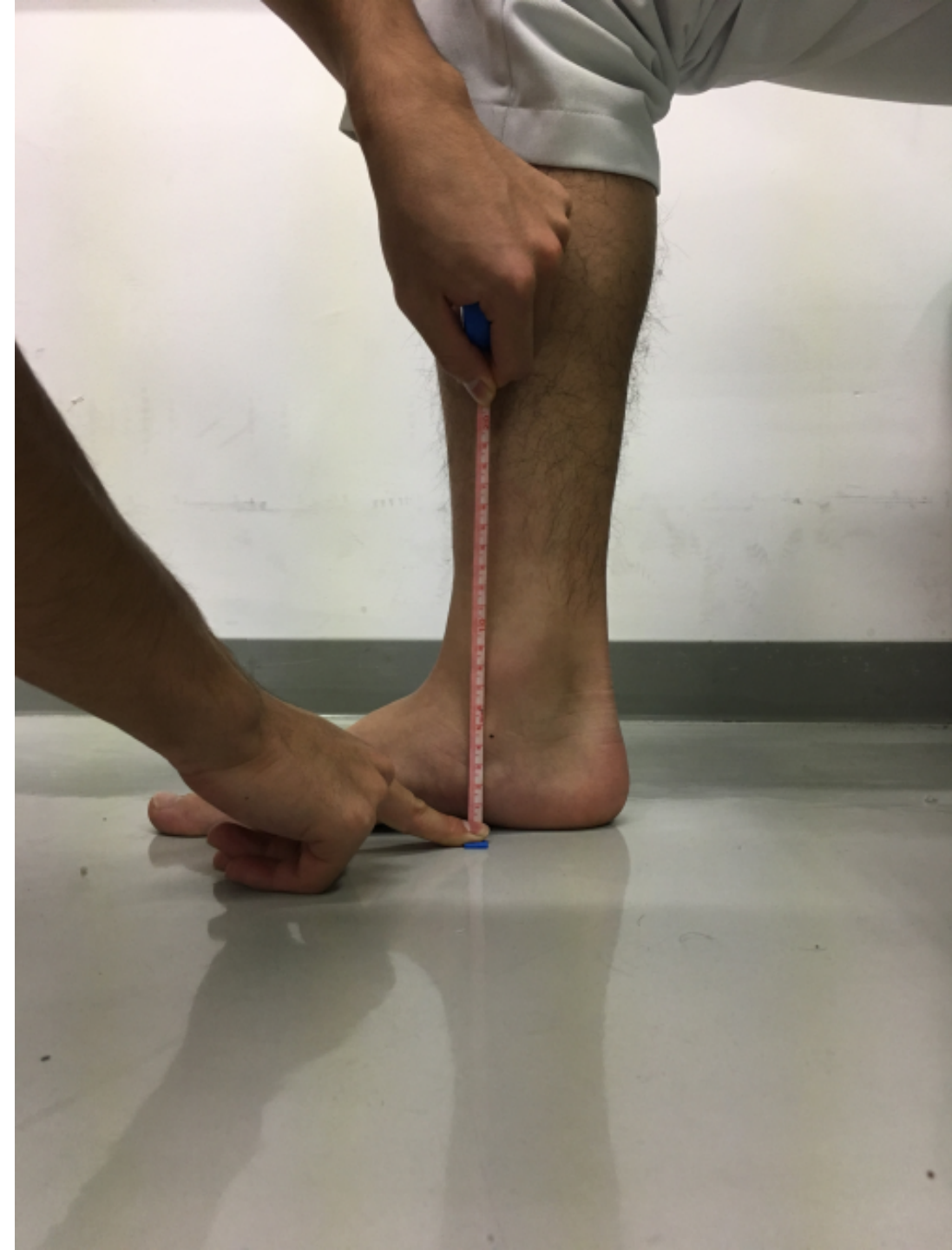
正常

足長

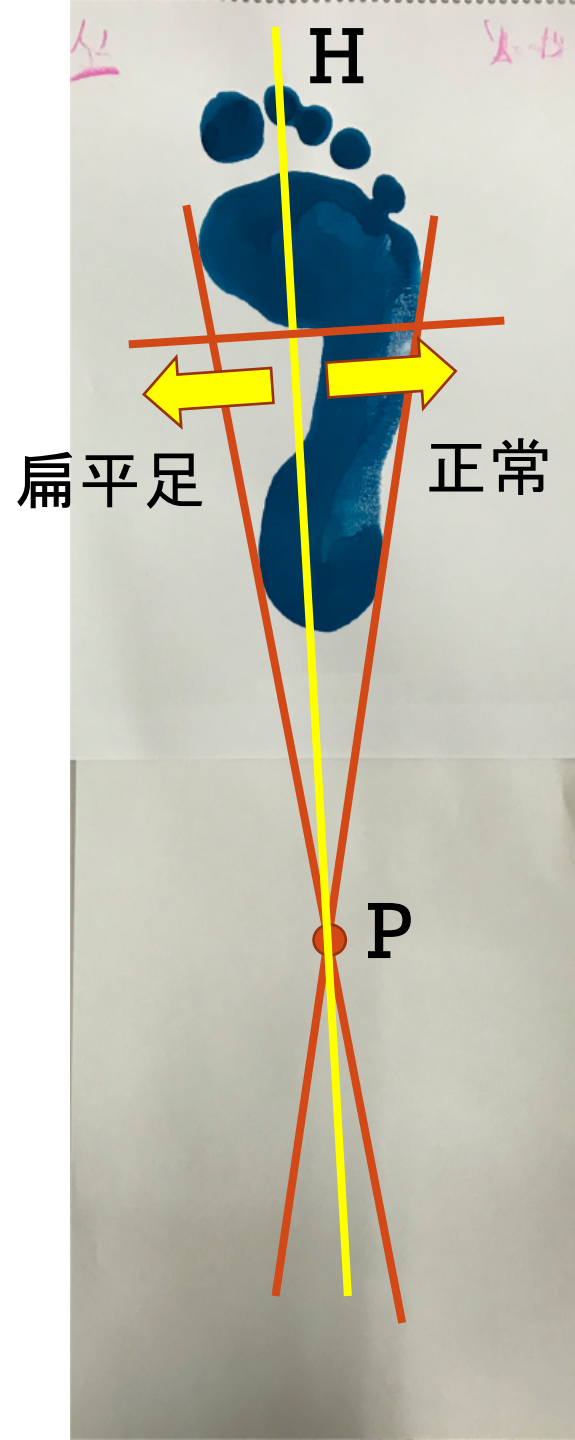
舟状骨結節



Navicular Index



Foot Print



Foot Print

足底に塗料を塗り座位と立位で足型をとる



正常

Navicular Index

正常



Foot Print

正常



假性扁平足

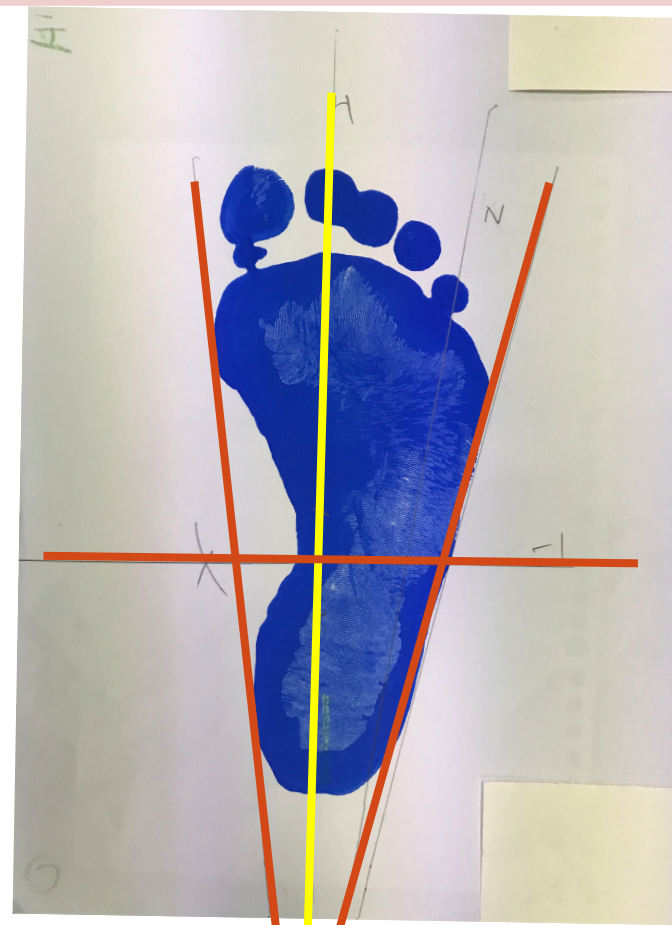
Navicular Index

正常

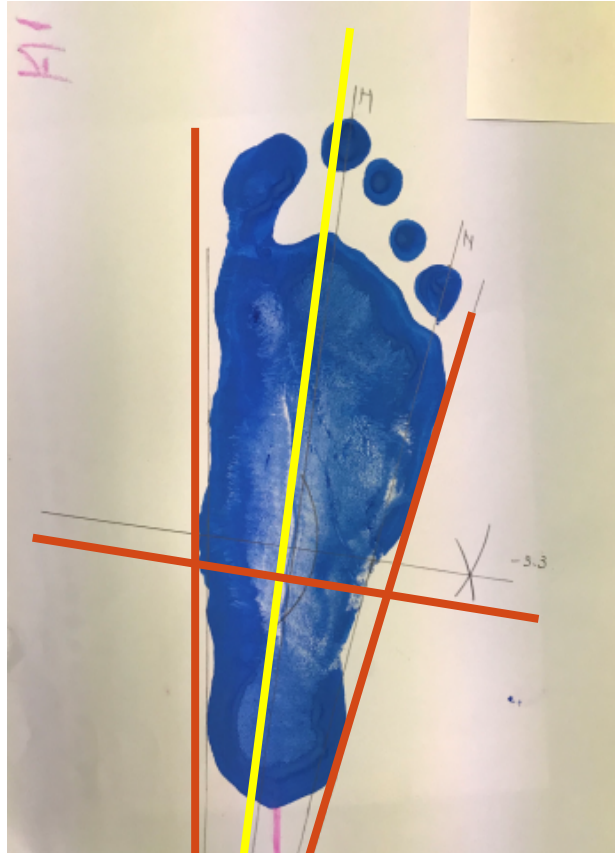


Foot Print

扁平足



真性扁平足

Navicular Index	Foot Print
扁平足	—
	



計測結果

(人)

n=38



問診項目

下記の項目を問診し、データをグラフ化し比較

- ✓年齢
- ✓体重
- ✓身長
- ✓競技年数
- ✓運動習慣
- ✓足首の周径
- ✓平均睡眠時間
- ✓通学手段
- ✓受傷歴
- ✓足長



平均足長

n=38

(cm)

27.00

26.50

26.00

25.50

25.00

24.50

24.00

23.50

24.79

24.73

25.16

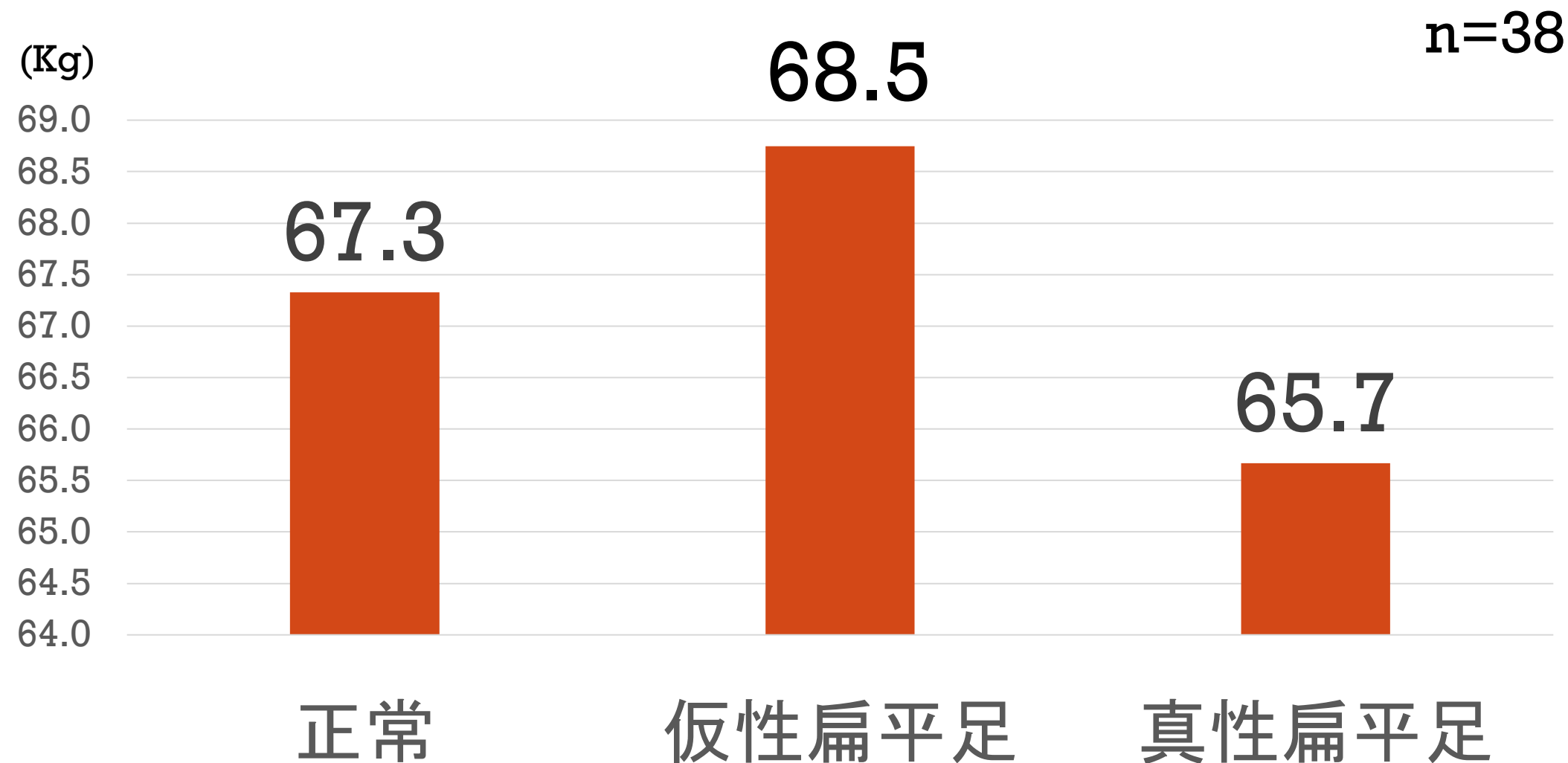
正常

仮性扁平足

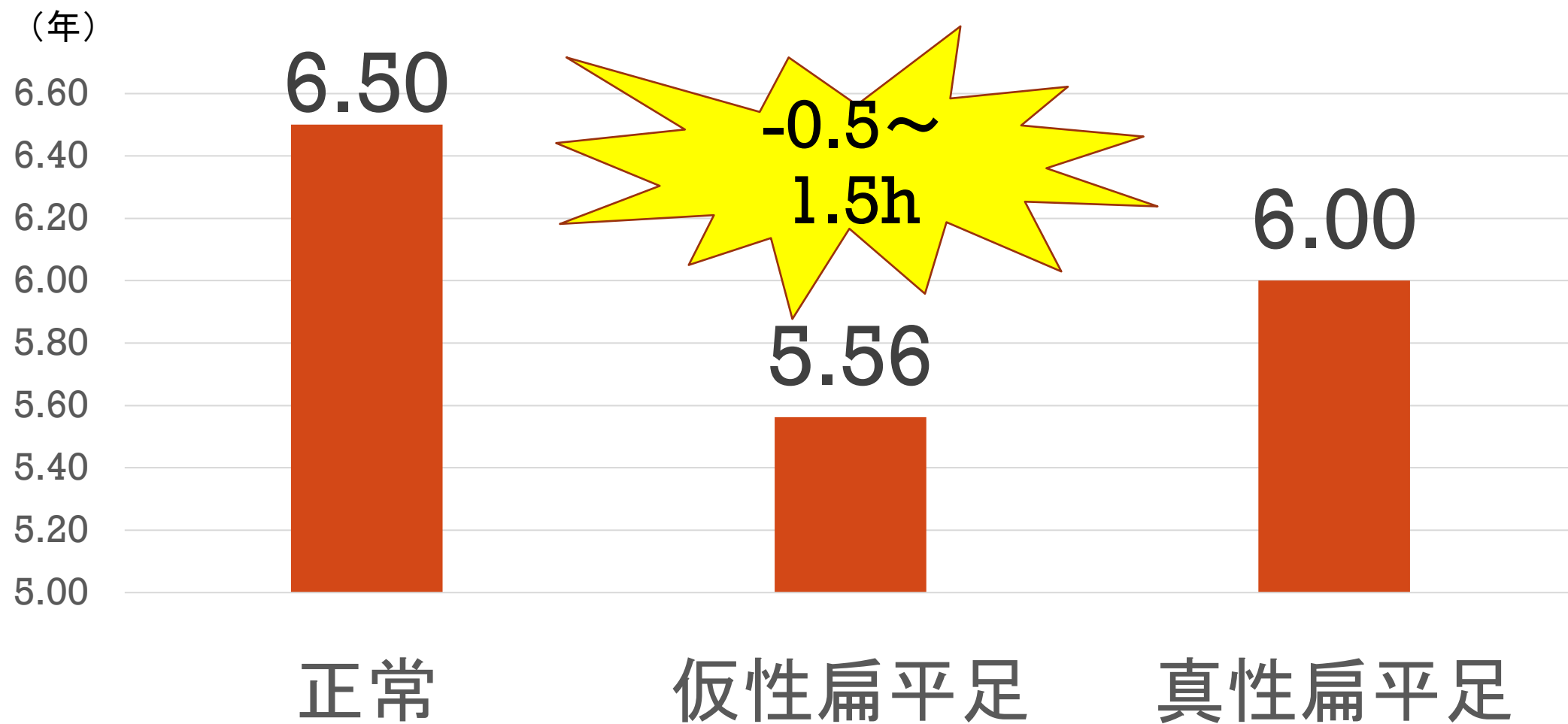
真性扁平足



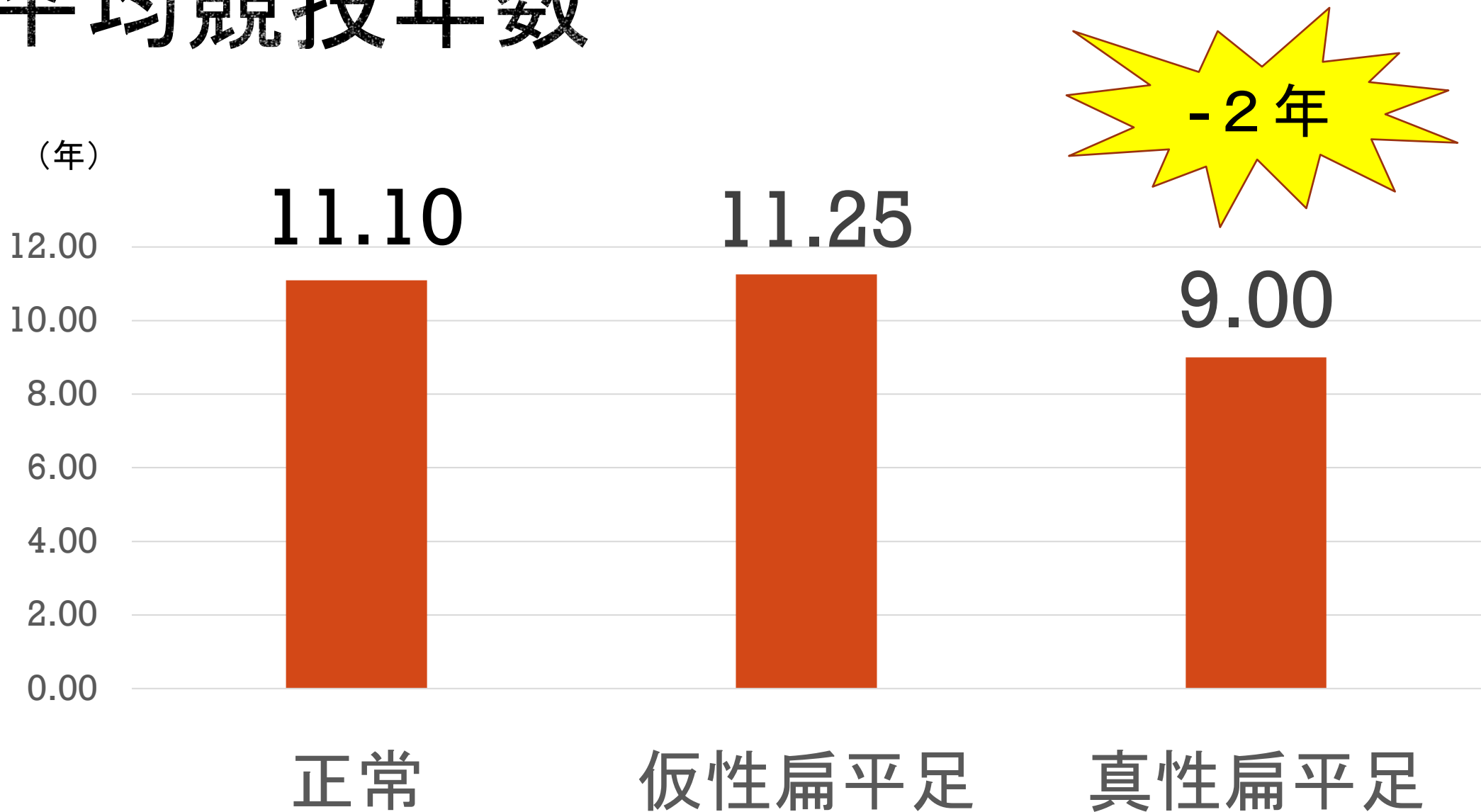
平均体重



平均睡眠時間



平均競技年数



考察

- 様々な要因が扁平足に影響している
- 扁平足を予防したり、扁平足が起因となる障害を防ぐことが出来るのではないか
- 平均競技年数とアーチ形成率には比例関係があるのではないか



課題

- 対象者を本学生に限定した為年齢の幅が小さかった
- 性差を出せば更に研究の幅が広がった
- 触診による誤差が今後の課題



まとめ

「**体重**」 「**平均睡眠時間**」 「**平均競技年数**」

以上の項目を扁平足の患者様に問診する時の一つの
指標になるので将来の臨床の現場で活かしていきたい



参考文献

- 弘前大学弘前大学医学部保健学科理学療法学専（2013）「正常足と扁平足を区別するための Navicular Index」公益社団法人日本理学療法士協
http://jspt.japanpt.or.jp/eibun/2013/1306_1.html
- 弘前大学学術情報Repository (2008)「 footprint評価の定量化と足アーチ高率との関係 」
http://repository.ul.hirosaki-u.ac.jp/dspace/bitstream/10129/674/1/2008_oda.pdf



ご静聴ありがとうございました

